

---

# 雨

忍冬

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ  
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。  
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者また  
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ  
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範  
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し  
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

雨

### 【著者名】

忍冬

### 【あらすじ】

アーサーがひたすら菊の描写してゐる話。

前に別のサイトに投稿したのを微妙に直しました。

(前書き)

えつと... B-L注意でや  
....

?

?

？？いつから　あいつがあんなに愛しくなったのかはわからない。

？？でも、これだけは本當だ。

？？あいつは俺を孤獨といつ暗闇から救い出してくれた。

?

？？あの、綺麗な白い手で。

?

3

？？「……………アーサーさん？」

？？「……………ん。ちょっとばーっとしてた。悪いな菊」

？？「いいえ」

？？そつとて手に持った傘を傾げる菊。

？？傘の先に付いた縄糸の房飾りがさりげと揺れる。

?

？？黒の漆塗りの骨組と朱い紙でできた傘。

？？その下の黒い着物姿の菊。

? ? 色白の彼には黒がよく似合つ…………。

? ? ほんやうとそんなことを思つてみた。

? ? 「アーサーさん？」 ？ ？ ？ ？ ？ ？

「あ…………すまないな。最近なんだか疲れやすくて…………うしてだらう」

?

「まあ、それは大変ですね」

?

? ? 黒目がちな瞳を少しだけ見開く菊。

? ? その日の色の深さにため息をつく。

「…………大変つて程じやないけれど…………特にこんな日は物思いにふけりたくなる」

「わかります。こんなに美しい雨の日は…………」

? ? 彼は空を見上げる。

? ? その横顔の輪郭が緩やかな曲線美を描いている。  
しつとりと降る雨。

灰色の空に朱い傘。

? 黒い着物。

？？白い肌。

？

\*

「？」まあ……」

菊が驚いた様な声を立てた。

「どうした…………？」

「あれを御覧下さい」

？？菊が優雅な動作で指し示したのは、一羽の小鳥。

地味な枯れ葉色の小さな鳥。

「あの小鳥は…………不如帰つていうんです」

「お前ん家の和歌によく詠まれているやつだな」

「まあ。よくご存知ですね」？

大好きなお前が好きなものを俺が知らないはずがない。

思つたが、口になに出さなかつた。

「では、これはご存知ですか？」

彼が少し哀しそうに言つ。

？？「不如帰はね、血を吐きながら鳴へんです」

「…………え」「

「昔から、そう呟かれていたんですね」

「…………それは…………つまら…………」

？「何事にも命がけとこいつ」とですよ…………。私達みたいに

「…………やつか。そうかもな」

？

\*

？？やがて、大きな戦争が起きる。

？

？？世界中が巻き込まれる。

？俺と菊も、きっと敵味方に分かれてしまつ。

？でも、俺達が命をかけて戦つても…………。

？？[幽だけは、きっと変わらずに静かに降り注ぐ。]

？？そして、俺に想い出させるのだ。

？？「Jの、淡い初恋を。

？？END

(後書き)

あつがといじかこます (\*^\_\_^\*)

わたしは連載書がないで何してるんでしょうな.....がんばって書  
きますから待ってください。^-^。^-^。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6971p/>

---

雨

2010年12月30日21時39分発行